

カモシカ通信



平成30年度 天竜川水系 ツベタ沢砂防堰堤工事



本工事着手前のツベタ沢砂防堰堤（主堰堤）

今月から工事を開始する、『平成30年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事』のご紹介をさせていただきます。

今回の工事では、土石流を捕捉する主堰堤を完成し、ツベタ沢の河床を安定させる副堰堤を半分（左岸側）施工します。ツベタ沢砂防堰堤を早期に完成させることで、地元地域および主要道路である国道152号線の安全を確保します。

Yamaura

【連絡先】 駒ヶ根市北町22-1
TEL 0265-82-4812

株式会社ヤマウラ

監理技術者
下出 知宜

現場代理人
北村 靖章



ツベタ沢で発生した土石流を教訓に！

夏でも沢を流れる水はとても冷たい（ツメタ）と言われているツベタ沢。普段は綺麗で冷たい水を供給する穏やかな溪流です。そんなツベタ沢に土石流が発生したのは平成22年7月でした。

活発化した梅雨前線の影響で、飯田地域では15日朝まで激しい大雨となりました。そして14日夕方、ツベタ沢で土石流が発生しました。土石流の発生で民家、集会所には土砂が流入し、国道152号は土砂が堆積し通行止めになりました。流出した土砂は3,400m³と推測されます。

この土石流では、国道152号線が寸断されたことにより、地域は孤立状態に陥りました。幸いにも、命に係る被害は発生しませんでした。避難がわずかでも遅れていれば大変な災害となっていたと思われます。

また、国道の脇には、中郷蛇岩と言われる慶応4年7月の豪雨の時に上流部より、土石流により運ばれてきた巨石が鎮座しています。長さ約7m、幅約9m、高さ約10mあり、重さは、約1,300tもあります。周辺には、このように土石流で流れてきた巨石がいくつも、みられます。この時の、土石流の規模は、流失した巨石の大きさをみても、かなり大規模な土石流が発生したことが、予想されます。

『天災は忘れた頃にやってくる』寺田寅彦氏の言葉（※1）です。安心して暮らすことのできる国土づくりの重要かつ必要性に責任を感じています。

『ツベタ沢で発生した土石流災害を教訓に！』

地域、インフラの安全確保を念頭に工事を行っていきます。

※1 諸説あり

私達が工事を担当します。

工事を施工するにあたりましては、安全第一で、作業を行います。

地域の皆様には、工事中は、何かとご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

土石流発生直後の状況写真



当時の新聞記事



大雨による土砂崩れで寸断された国道152号=15日午後3時48分、飯田市上村中郷

平成 22年 7月 16日 / 函
信濃毎日新聞 朝ワタ

県南部大雨 7世帯の孤立続く
飯田市上村の中郷地区で15日午後3時48分、大雨による土砂崩れで寸断された国道152号。この土石流は、長さ約7m、幅約9m、高さ約10mあり、重さは約1,300tと推定される。この土石流は、慶応4年7月の豪雨の時に上流部より運ばれてきた巨石が原因と見られる。土石流発生後、中郷地区は孤立状態に陥り、7世帯が孤立した。飯田市は、土石流発生後、中郷地区に緊急輸送隊を派遣し、孤立した住民の救出に努めた。また、土石流発生後、国道152号は通行止めとなり、地域は孤立状態に陥った。飯田市は、土石流発生後、中郷地区に緊急輸送隊を派遣し、孤立した住民の救出に努めた。また、土石流発生後、国道152号は通行止めとなり、地域は孤立状態に陥った。

中郷蛇岩

